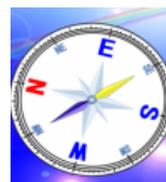




羅針盤



2012/11/9
NO. 57

〈編集・発行〉

東中3年進路指導部

進路担当より

だいぶ体験入学が減ってきたのに気づいて
いますか？12月の体験が最終と考えてください。

ということは、残るは体験をして、希望校を比
較して、自分のフィーリングに合う学校を選ぶ時
期になったということです。

ここからが本番です。頑張りましょう。

《いよいよ 面接学習はじめます！》



上の冊子を中心に面接学習を行います。日
頃の自分の姿や行動を振り返り、ただすところは
正し、アピールできるところは正しい話し方でアピ
ールできるようにしましょう。

また、12月には「面接講座」と題して、講師の
方を呼び、学習を深めていきます。

自分のために頑張りましょう。

私の進路選択

第9弾は、長谷川先生です。

小学校を卒業する時、女子なら友達とサイ
ン帳を書きあったことがあると思います。私
はその将来の夢コーナー欄に「アナウンサ
ー、何かの先生」と書いていました。高校を選
ぶ際は、正直なんとなく普通科の公立高校を
選びました。ただ、なんとなくといっても実際
に文化祭へ行き、高校へまでの行きやすさと
先輩達がやりたいことを考えていきいきと実
践しているのを見て私も入学したいと思うよ
うになりました。

割と将来への夢は早いうちからあったもの
の、全てがうまくいった訳ではありません。第
一希望の大学に合格することができず、悔し
くて部屋にこもっていたのを今でも覚えてい
ます。しかし「郷に入っては郷に従え」という
ことわざがあるように、大学では部活動に力
を入れ楽しい充実した4年間を過ごしました。
各方面からの未だに刺激を受けている友達、
そして様々な職種に就いている友達から話を
聞けることも今となっては大切な財産です。

ゴールまでは様々な行き方があり、どの道
が良いのかは分からないものです。例え始め
描いていたようにいかなくてもずっと立ち止
まらないで自分を信じてみて下さい。

「Learn by losing」英語の教科書にあった
ように、失敗したからこそ次は勝つぞ！と強
い思いで頑張ることができます。その時自分
で納得いくように判断すれば後から後悔する
ことはないから…。悩みながら一歩一歩進ん
でいくみんなを応援しています。



裏面に「交通遺児育英会」のご案内を掲載し
ます。希望の方は、早めに岩下まで申し出てく
ださい。